

(2)

ア

## 生涯の各段階における健康

### 1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に上げるとともに、発育・発達の時期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖にかかわる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であることなどを学習している。

### 2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領  
解) 同解説  
の内容を示します。

要1) 生涯の各段階において健康について  
の課題があり、

指導に当たっては、  
①発達段階を踏まえること  
②学校全体で共通理解を図ること  
③保護者の理解を得ること  
などに配慮することが大切である。

要2) 自ら適切に対応する必要があることが重要であることについて理解できるようにする。

要3) 我が国の保健、医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。

要4) 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることが理解できるようにする。

ア  
思  
春  
期  
と  
健  
康

(イ) 結婚生活と健康  
健康な結婚生活について

心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できるようにする。

その際

解2)  
受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。

解3)  
家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。

結婚生活を健康に過ごすには、

解4)  
・自他への健康の責任  
・良好な人間関係  
・家族や周りの人からの支援  
・母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要なことを理解できるようにする。

ウ  
加  
齢  
と  
健  
康

※「現代社会と健康」

解1) 現代の感染症とその予防の性感染症  
エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

《指導案作成》  
9 / 10 時間

### 3 知識を活用した学習活動（9／10時間目）

性に関する指導について、正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的に、自分事として捉えることができるよう、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れていく。最終的には健康と命の大切さに触れることはもちろん、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てることをゴールとする。そのための授業として本時の学習内容を設定し、知識を活用した学習活動とする。

#### <導入>

##### 前時までの復習

各単元で学びえた知識を再度確認し、展開につなげることとする。

#### <展開1>

##### 習得① ※確認

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。

性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

##### 習得②

※「生命(いのち)の安全教育」の視点から改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。

#### <展開2>

##### 活用①

課題 「日本における性課題を解決するために、  
私たちができることはなんだろう。」

発表をうけてポイントを再度認識するとともに、社会において性に関する課題あることに気づかせる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示す。

課題を明らかにした後に、課題解決のための方策を各班で話し合う。

#### <展開3>

##### まとめ

課題解決のための方策について発表をさせる。また性に関する指導全体の振り返りをさせ、ワークシートに感想を記入させる。※発表や提出されたワークシートをもって、学習の評価と照らし合わせ、指導と評価の一体化を目指す。

#### 評価①(知識・技能)

##### 【観察・ワークシート】

思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。

#### 評価②(思考・判断・表現)

##### 【観察・ワークシート】

生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。

評価①については、習得①の場面で、評価②は活用①でそれぞれ観察・記録に残す評価として行い、最終的には授業中の観察記録と生徒が提出したワークシートの記述を見て評価するようにする。

## 保健体育科（科目保健）学習指導案

第 2 学年  
指導者

第 5 校時 多目的室④  
男子 20 名 女子 9 名  
教諭

### 1 単元名 「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

#### 2 単元について

「生涯を通じる健康」（本単元）では、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解することが求められている。同時に、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要があることから、本単元では、以下の内容を中心として構成される。

- ① 思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること
- ② また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること
- ③ 自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること

以上を踏まえた上で、学習指導要領の「性に関する指導」の内容については、(ア) 生涯の各段階における健康の時数を 8 と定めることとし、各段階における理解をより一層深められるよう充当する。また、学習のつながりを鑑み、「現代社会と健康」(イ) の現代の感染症とその予防の性感染症についても本年度時数 2 として取り扱うものとし、時数は計 10 となる。各年代における精神面の成熟や正しく性を理解するなかで今後の意思決定・行動選択につなげていくことはもちろん、個人の取組に限らず、性に関する指導の普及、正しい情報の発信など社会的な対策や環境づくりが必要であることを理解することが本時のメインとなる。

#### 3 生徒の実態

##### (1) 知識及び技能

小学校、中学校段階における性に関する指導を受けてきた生徒がおおむね見られる。一方で、学習カードや授業中の発言より内容や基本的知識について曖昧な生徒がいたり、誤った情報を鵜呑みにしたりする生徒が多い印象がある。生徒の理解を深める授業を展開するための工夫・準備が必要である。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

普段の授業では、自分の考えを仲間と共有したり、発表の機会を意図的に増やしたりするなど思考・表現力等の向上を図ってきた。自己や社会の課題発見、解決に向けた話し合いなど、対話的な学習にも前向きに取り組むことができる生徒が多いが、一方で、対話や他者とのかかわりを苦手とする生徒も一定数いる。指導においては、興味・関心を引き出しつつ、安心して学ぶことができる環境づくりが重要である。

##### (3) 学びに向かう力、人間性等

明るい雰囲気があり、素直な生徒が多いクラスである。保健の学習にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。身近な話題など自分事として捉えられるような課題に対する学習意欲は高い。一方で、学びに向かう意識についての生徒間の差が大きいことから、消極的な生徒にも前向きに取り組める学習課題とするなどの配慮が必要である。

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

性に関する指導については段階的学び、いわゆる既習事項として知識が定着しているが生徒がいる一方で、興味・関心や経験の程度は一人一人異なっており、保健の学習に対する学習意欲は偏りがある。本単元では、確かな知識が学びの基盤になることを踏まえ、適切に指導していく。習得した知識が今後の実生活につながり、生きた教材・生きた知識となるよう配慮し、学習内容を明確にしていく。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

正しい理解をもとに今現在あるいは将来に生かすことを目的とし、自分事として捉えることができる教材の工夫をしていく必要があると考える。具体的には、ケーススタディや話し合い活動などを積極的に取り入れ、自分たちが考え、発表し、評価を得る過程の中で、自己効力感・自己決定感を感じられる授業実践をしていく。

### (3) 学びに向かう力、人間性等

確かな知識を高めることはもちろん、適切な行動が求められる現代において、自分事として捉えて学びを深めていく必要があり、非常に重要な学習範囲となる。最終的には健康と命の大切さに触れること、性についての学習にとどまることなく、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てていきたいと考える。加えて、適切な情報の扱いや心の成長の重要性、今回、性に関する指導を受ける意義・目的を明確にし、本時の授業につなげたい。

## I 学習（指導）内容の明確化

学習内容の理解と深まりを図るため10時間扱いとする。詳しくは、「7単元の指導と評価の計画」に示す。

## II 基礎的・基本的な知識の習得と知識を活用する学習活動の実践

一斉教授型の授業スタイルで性に関する基本的な知識の習得を目指すことに加えて、自らが課題を見つけ、タブレット端末を活用したり、話し合いをしたりする中で、適切に行動するための方策について考える機会とする。本時については知識や理解したことを共有して、より深い学びにつなげる学習活動を展開する。また、対話的な活動を行い、指導のねらいである「性に関する指導」の課題を明らかにし、課題解決の実現に向けた行動選択につなげることはもちろん、環境づくりの大切さを実感し、多様な情報との付き合い方についても触れることとする。

## III 学習内容を主体的に取り組ませるための教材の工夫

### ・ICTの活用と資料の工夫

本時では、プレゼンテーションソフトを活用して授業を展開する。豊富な情報を効率的に生徒に提供でき、視覚的に見やすくわかりやすいことから生徒の理解の促進につながると考える。また、板書する時間を省略することができ、生徒の活動時間を確保することや生徒の思考の助けとなることなどが期待できる。

資料については色付きで作成し、生徒が興味・関心を持ちやすいよう工夫することで、学習意欲の向上につなげる。また、グラフや表等の視覚に訴える資料の提示により、生徒の思考を促す一助とする。

## 5 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解できるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

## 6 評価規準

| 知識・技能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 思考・判断・表現                                                                                                                                                  | 主体的に<br>学習に取り組む態度                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ① 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>② 思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>③ エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>④ 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>⑤ 家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>⑥ 結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>⑦ 中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 | ① 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br>② 結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 | ① 思春期と健康、結婚生活と健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。 |

7 単元の指導と評価の計画（全10時間）本時は○印

| 時                     | 学習のねらい・活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 知 | 思 | 態 | 評価方法         |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|--------------|
| 1 思春期と健康              | <p><b>I ねらい</b></p> <p>思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <p>1 概要説明、思春期における男女の特徴並びに心理的特徴</p> <p>2 まとめ</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化すること。</p>                                                                                                                                            | ① |   |   | 観察<br>ワークシート |
| 2 性意識と性行動の選択          | <p><b>I ねらい</b></p> <p>思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解できるようにする。思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <p>1 概要説明、男女差について、LGBTQ+、SOGI について<br/>性情報の注意点について、生命の安全教育</p> <p>2 まとめ</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>思春期における心身の変化に対応し、自分の行動への責任や異性を尊重する態度が必要であり、性に関する情報への適切な対処も必要であること。</p> | ② | ① |   | 観察<br>ワークシート |
| 3 性感染症・エイズとその予防       | <p><b>I ねらい</b></p> <p>エイズ及び性感染症について、その原因及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <p>1 概要説明、性感染症の過去と現在<br/>性感染症がもたらす影響</p> <p>2 発表準備(ICT 活用など)主な性感染症を一つ選択</p> <p>3 発表練習</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>エイズ・性感染症の理解と今後の自らの行動選択を適切に行うこと。</p>                                                                                                                               | ③ |   |   | 観察<br>ワークシート |
| 4 性感染症・エイズとその予防<br>II | <p><b>I ねらい</b></p> <p>同上</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <p>1 前時の復習 2 発表 3 振り返り・まとめ</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>前時に加えて正しい情報の取り扱いについて適切に行うこと。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 | ③ |   |   | 観察<br>ワークシート |
| 5 妊娠・出産と健康            | <p><b>I ねらい</b></p> <p>受精、妊娠、出産に伴う健康課題について理解できるようにすると共に、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <p>1 概要説明、受精・妊娠・出産について、<br/>妊娠中の健康管理・配慮事項、産後について</p> <p>2 まとめ</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>妊娠から出産、その後のサポートについて触れることとし、受精、妊娠、出産に伴う健康課題があること。</p>                                                                                                                       | ④ |   |   | 観察<br>ワークシート |

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |   |   |   |              |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|--------------|
| 6 避妊法と人工妊娠中絶 | <p><b>I ねらい</b></p> <p>家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 概要説明、家族計画の意義について、避妊法について人工妊娠中絶について</li> <li>2 まとめ</li> </ol> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>正しい理解と選択が不可欠であり、様々に責任が伴うこと。</p>                                                                                                                                                                                                 | ⑤ |   |   | 観察<br>ワークシート |
| 7 結婚生活と健康    | <p><b>I ねらい</b></p> <p>健康な結婚生活は、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 概要説明、結婚生活と心の発達について、結婚生活と家族の健康について、結婚生活の諸課題</li> <li>2 まとめ</li> </ol> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>結婚生活には互いの理解と協力が必要であること。また周囲のサポートも取り入れるなどの選択もできるということ。一方で虐待等課題もあること。</p> | ⑥ | ② |   | 観察<br>ワークシート |
| 8 まとめ I      | <p><b>I ねらい</b></p> <p>思春期と健康、結婚生活と健康、について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p> <p>生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 流れの説明</li> <li>2 発表準備(ICT 活用など)</li> <li>3 発表練習</li> </ol> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>まとめや発表資料について、誰もが端的で理解しやすい工夫を呼びかける。</p>                                                                          |   | ① | ① | 観察<br>ワークシート |
| ⑨ まとめ II     | 8、本時の学習と指導 参照                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ② | ① |   | 同上           |
| 10 加齢と健康     | <p><b>I ねらい</b></p> <p>中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて理解できるようにする。</p> <p>生涯の各段階における健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時のねらい</li> <li>2 中高年が抱えるの健康面で不安</li> <li>3 加齢に伴う心身の衰えについて</li> </ol>                                                                                               | ⑦ |   |   | 観察<br>ワークシート |

|  |                                                                                                                                                                                                                |  |  |  |  |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
|  | <p>4 生活習慣による中高年期の健康問題</p> <p><b>指導すべき内容</b></p> <p>加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面からあること。・中高年期を健康に過ごすためには、若い時から自己管理をすること、生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流を持つことなどが重要であること・高齢社会の到来に応じて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であること</p> |  |  |  |  |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|

## 8 本時の学習と指導（9/10）

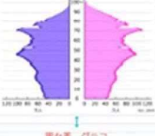
### （1）ねらい

- ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解することができるようにする。＜知識及び技能＞
- ・生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。＜思考力、判断力、表現力等＞

### （2）資料及び準備するもの

プロジェクター、スクリーン、ノートパソコン、ワークシート、マイク

### （3）展開

| 時間        | 学習内容・活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>5分  | <p>1 挨拶・出席確認</p> <p>2 本時の説明と確認</p> <p>3 前回までの振り返り</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>○挨拶、出欠・座席の確認をする。</p> <p>○本時の学習の流れを理解し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>○前時までの内容について簡単に振り返りをする。</p> <p>○グループ活動をそれぞれ振り返らせる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 展開<br>35分 | <p>4 グループ活動の発表(20分)</p> <p>趣旨説明・発表準備等</p> <p>グループ A（思春期と健康）</p> <hr/> <p>思春期と健康</p> <p>学んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の体と思春期（月経、排卵）</li> <li>・男性の体と思春期（精通・マスターベーション）</li> <li>・体型を気にしたり、経期不足を感じたりする</li> <li>・欲求不満や悲観的になりやすく、それでイライラなどが起こること</li> </ul> <p>大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲のサポートを求める事</li> <li>・心身に影響する事を把握し、自身をコントロールすること</li> </ul> <p>グループ B（性意識と性行動の選択）</p> <p>性意識と性行動の選択</p> <p>学んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性意識の男女差</li> <li>・異性への尊重</li> <li>・依頼できる性情報と性行動の選択</li> </ul> <p>大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の結果を考え、責任をもって行動すること</li> <li>・正しい情報をもとに行動すること</li> </ul>  | <p>○課題について、グループごとのワークシートにまとめたものを共有し、発表させる。</p> <p>○各グループの発表をしっかりと聞き、差異にも注目しながらメモを取るよう促す。</p> <p>以下、生徒の発表内容に応じて随時補足していく</p> <p>○個人差があるものの、思春期における性への関心の高まりは普通であること。また、この時期は心と体の成長にずれがあり、理想と現実での差がイライラなどにつながりやすくなるなど、自身の状況と重ね合わせながら考えさせる。</p> <p>○個人差があるものの、生物学的な男性女性で考え方に傾向があることや他者への理解が大切であること。多様な考え方が一般的になり、求められる一方課題もあること。性情報については、しばし誤った情報も含むこともあり、注意が必要なことなどを確認する。</p> |

## グループ C（性感染症とその予防）

### 性感染症・エイズとその予防

梅毒では、発症すると三段階に症状が現れます。症状は現れたり自然に消えたりを繰り返すので、病院の治療の継続が大切です。

淋菌感染症は淋菌は弱い菌なので、感染者の粘膜から離れると感染力を失い、日光や気温の変化、消毒剤で簡単に死滅します。

大切なこと

- ・一回の性的接触でもかかる場合がある。
- ・相手への配慮が大切
- ・コンドームの使用、パートナーとの検査、治療

性感染症についてあまり深く知らなかったため、病気がどのような症状になるのかしれてよかったです。

## グループ D（妊娠・出産と健康）

### 妊娠・出産と健康

#### <学んだこと>

- ・受精・妊娠・出産までの流れ
- ・妊娠中は胎児への影響を考え飲酒や喫煙は控えること
- ・出産には母体の負担が大きいこと
- ・マタニティーブルー・産後うつ
- ・母子保健サービス



#### <大切なこと>

- ・周囲のサポートを受けること
- ・パートナーとの協力が大切であるということ

## グループ E（避妊法・人工妊娠中絶）

### 避妊法と人工妊娠中絶

#### 学んだこと

- ・主な避妊法：ピル、コンドーム、IUD、避妊手術、緊急避妊ピル
- ・確実な避妊法は「性交しないこと」
- ・人工妊娠中絶：妊娠第22週未満に限って、手術によって胎児を母体外に出すこと
- ・特別な理由がある場合に限り、母体保護法により認められている
- ・女性にとって身体的負担や精神的な傷が大きい

#### 大切なこと

- ・望まない妊娠をしないために互いを理解すること
- ・尊重できる関係でいること
- ・避妊の重要性を理解すること



## グループ F（結婚生活と健康）

### 結婚生活と健康

#### 学んだこと

- ・結婚とは法律で定められた婚姻状態にある夫婦
- ・精神面の発達
- ・互いの健康状態を知っておくこと
- ・食事や住環境に配慮すること
- ・高校生の時期から心身の健康づくりに努めること

#### 大切なこと

- ・パートナーとの協力
- ・責任感
- ・精神面の発達が不可欠であるということ

### ○まとめのポイント

情報を詰め込みすぎでないか

端的に言うとながが一番大切か

単元を通して学び考えたことは？

前時までに学んだことを生かして、現状・課題を明らかにする。  
性に関する課題解決のためにできることを考えるための次の発問につなげる。

○予防を怠ると一度の性行為で感染する可能性があること。  
とりわけ梅毒に増加傾向がみられること。パートナー同士で予防あるいは罹患した場合には治療が大切だということなどを確認する。

○まず自分が生まれてくる確率を振り返り、改めてかけがえない存在であることを自覚できるような声掛けを行う。  
妊娠から出産、その後に至るまでパートナーとの協力・育児の参画が不可欠であるということなどを確認する。

○家族計画の重要性について今一度確認させる。そのうえで、子どもを望まない場合には、避妊法を適切に行う責任があることを確認させる。人工妊娠中絶については、身体的・精神的負担が大きいこと。一方で、選択することは間違いではないこと。いずれも責任が問われることを再度確認する。

○結婚生活では協力や思いやりなど精神的な発達が求められること。健康的な生活を送るためにも互いのことを理解し行動していくことが求められているということ。一方で、虐待に代表されるように課題があることなどを確認する。

◆思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。  
【知識・技能】

△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て

・グラフや表の数値の部分に着目させる。

・前時のメモや仲間の発言を参考にさせる。

◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿

・前時の授業で得た知識と実際の生活行動を結び付けて、自分の考えを発言している。

・周りの意見をメモするなど、自分の考えに取り入れている。

|           |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | 5 問題提起・課題解決             | <p>○発表後、改めて性についての見識を深めることの意義を確認する。※「生命（いのち）の安全教育」の視点から</p> <p>○そのうえで課題があることを確認させ、次の学習活動につなげる。課題については、性被害・性暴力件数、人工妊娠中絶の件数、性感染症に罹患率などグラフで示すものとする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|           | 6 発表（3分） 2グループ程度        | <div>課題 日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう。</div> <div> <p>【発問】<br/>性課題を解決し得る、取組・方策は何が考えられるか？</p> <p>グループで話し合い（12分）</p> <p>発問の回答をジャムボードにまとめる</p> <p>（予想される回答）</p> <p>SNSの利用・CMの作成<br/>職場での講習を義務化など</p> <p>↓実際の授業で出てきた回答</p> <p>個人<br/>・保健も授業もまじめに受ける<br/>・性に関する考え方を变える</p> <p>社会<br/>・スマホの広告（YouTube等）<br/>・SNSへの発信（インスタ、X等）<br/>・チラシを配る</p> </div> <p>○発表を受けて課題を明確にし、性課題解決の重要性を理解した上で、社会的取り組みについて考えさせる。</p> <p>○考えが難しい場合は、タブレット端末を用いてもよいが、極力使わないものとし、生活の中にヒントがあることを伝え、考えさせる。活発な議論がなされるように声掛けを続ける。</p> <div> <p>◆生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの発表内容から、キーワードを確認させるとともに、身近な生活の中にあるヒントに着目するよう促す。声掛けを行う。※教育や自治体について、SNS等の活用等</li> <li>・仲間との話し合いの中で自分なりに考えさせる。</li> </ul> <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に性課題解決の方策を示し、自分の考えについて筋道を立てて説明している。</li> </ul> </div> <p>○クラス全体で共有する中で、理解を深める。</p> |
| 終末<br>10分 | 7 振り返り・まとめ・次回予告<br>8 挨拶 | <p>○ワークシートに今回の自分の中で起こった変化や新たな理解について記述させる。発表させ、まとめにつなげる。</p> <p>○挨拶、ワークシートの提出を指示する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

「生涯を通じる健康」生涯の各段階における健康 ーまとめー ワークシート

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

○グループ活動・発表 他の班の発表から、わかったことを書き出そう！

A 思春期と健康

B 性意識と性行動の選択

C 性感染症・エイズとその予防

D 妊娠・出産と健康

E 避妊法と人工妊娠中絶

F 結婚生活と健康

メモ

・  
・  
・  
・

○日本における性課題を解決するために、私たちができることはなんだろう？

個人

社会

○まとめ

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

今回の授業で新しく知ったことやイメージがどのように変わったか書いてみよう！